

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類				詳細点検
事務事業名	生活保護適正化				シート番号	A 一般事務事業 11-019
担当部署名	健康福祉	局	生活福祉	部	生活支援管理	課 評価責任者(課長名) 長谷川

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	地域全体で支える福祉の仕組みづくり	無
	2	事業開始年度	平成 13 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	生活保護法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	被保護世帯数の増加に伴い、扶助費についても増加傾向であったため、濫給・漏給防止の観点から、平成13年度に事業開始。現状、医療扶助等に関する適正化について優先的に取組みを進めている。今後も一層の適正化の取組が求められており引き続き実施を行う。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()					
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	生活保護費					
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	生活保護の適正化の推進を図るため、体制強化や給付のためのシステム整備、医療扶助の支給に関する点検等の充実を図ることにより生活保護の実施水準を向上させ、適切な運営を行い、最後のセーフティネットとして市民の皆様の信頼を得ることを目的とする。					
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	①体制整備強化事業・・・専任の面接相談員を配置し適切な面接相談体制を確保。 ②収入資産・扶養義務調査等充実事業・・・年金調査員を配置し、年金調査強化を図る。 ③関係職員研修・啓発事業・・・各種研修等を通じた人材育成による実施水準の向上を図る。 ④診療報酬明細書点検等充実事業・・・レセプト点検強化(委託)及び施術点検強化(施術点検事務職員配置)を図る ⑤介護扶助実施体制整備強化事業・・・専門員(介護扶助給付費調査等事務職員)配置により実施体制強化を図る。 ⑥医療扶助適正化推進事業・・・「医療扶助相談・指導員」配置し適正化を推進する。 ⑦居住生活サポート事業・・・医療の必要性が低い入院患者や、保護施設等への長期入所者などについて、その実態を把握し、地域生活が可能となった者について、退院及び地域生活への移行と地域での安定した居住生活を支援する。等					
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 北日本コンピューターサービス株式会社 日本システム技術株式会社 社会福祉法人みなと寮						

Ⅲ. 投入量

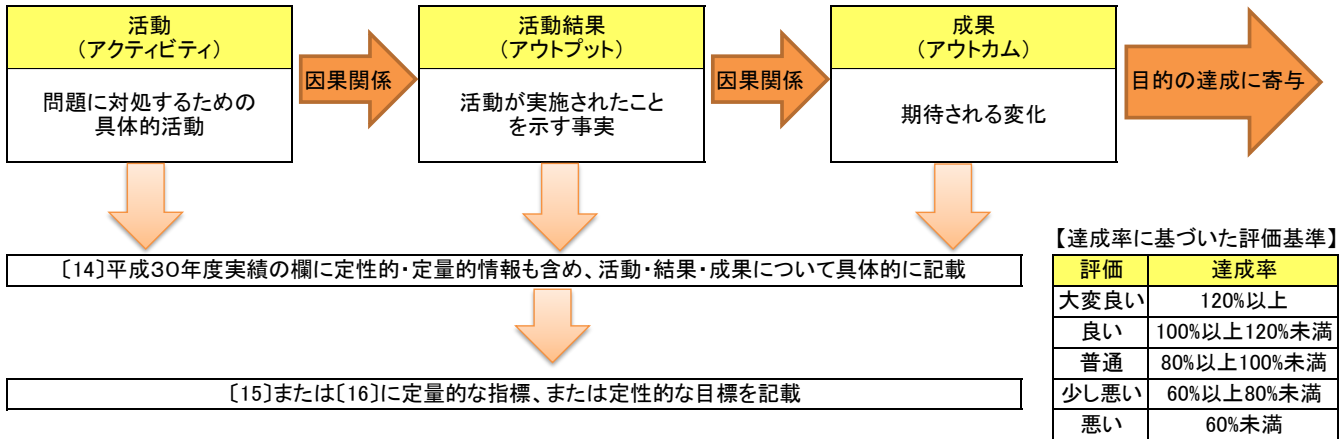
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	359,364	287,841	307,188	346,869	
	主な事業費内訳	生活保護システム保守点検業務	千円	46,764	24,189	33,383	35,193
		レセプト点検委託料	千円	14,389	11,932	11,595	9,720
		高齢者住宅等調査業務	千円	60,619	-	-	-
		居住生活サポート事業	千円	-	38,265	38,265	38,294
	財源内訳	国・府支出金	千円	186,553	165,803	169,604	183,651
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
	12 人件費 (b)	千円	25,420	25,420	25,420	25,110	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	384,784	313,261	332,608	371,979		

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	生活保護適正化	シート番号	11-019
-------	---------	-------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>生活保護制度は最後のセーフティネットとしての機能を担う制度であることから、その給付に当たっては必要となる扶助が不足することなく給付できるよう、その給付体制の整備を充実強化させる必要がある。他方、生活保護制度は健康で文化的な生活水準を維持するための最低限度の生活を保障する制度であり、かつその保護は生活保護受給者がその利用し得る資産、能力その他あらゆるものを最低限度の維持のために活用することを要件として実施されるものであることから、その給付が必要とされる限度においてのみ給付されるよう、給付にかかる審査を適切に行った上で給付がなされる必要がある。 本事業は上記の要請を満たすため実施するものであり、現状においては、特に医療扶助の適正化に重点を置き以下の取組を進めている。</p> <p>医療費の診療報酬及び調剤報酬等の明細書であるレセプトの内容点検を委託により実施し、診療報酬等が算定要件等に照らして適正に請求されているか、医療扶助を給付したレセプトに対して検討を行った。 また、施術報酬明細書についても施術点検事務職員を配置し、施術報酬が算定要件等に照らして適正に請求されているか、施術報酬明細書について検討を行った。 いずれにおいても、全ての明細書についての点検を実施することで、適正な給付が行われているか適切に審査を行い、必要かつ十分な給付を確保することができたと考える。</p>						
		15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	総レセプトに占める点検済レセプトの割合	件	目標値	622,847	633,433	640,712	-	
			実績値	622,847	633,433	640,712		
			達成率	100%	100%	100%		
			評価	良い	良い	良い		
	算出方法・設定根拠など		全レセプトについて、点検による適正給付を目指す。年度によりレセプト数は変わり、目標値の設定は困難であるが、達成率100%に取組む。					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		総施術報酬明細書に占める点検済明細書の割合	件	目標値	2,588	2,086	1,847	-
				実績値	2,588	2,086	1,847	
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
				評価	良い	良い	良い	
	算出方法・設定根拠など		全施術報酬明細書について、点検による適正給付を目指す。年度によりレセプト数は変わり、目標値の設定は困難であるが、達成率100%に取組む。					

業績の分析

17	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
	<p>継続的にレセプト点検、施術報酬明細書点検等充実事業を実施することにより、査定事例等が集積されている。 そのため、総レセプト点検件数等が増加する中でも、全てのレセプト、施術報酬明細書等について網羅的かつ効率的な事業の実施を行うことができたものと考えている。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。